

ニセコオートルート山スキー

記 T村M

2024/3/30~4/1

メンバー: T村M、T村E、(会員外)K村

昨年のGWに計画したが、時期が遅かったためニセコアンヌプリ~湯本までと目国内岳周辺の下見で終わった。今年は1ヶ月早めて期待していたが、全国的な雪不足。雪の量に不安を感じていたが、さすが北海道で雪は十分あったが、天候はなかなかうまくいかないもので、今度は強風で雪面カリカリでガスガスの中の山行になった。

2024/3/30(土) 曇り強風

ニセコグランヒラフスキー場は強風のためニセコアンヌプリへ登るリフトが運休してニセコアンヌプリ頂上へ上がることができないため、ニセコアンヌプリをパスして五色温泉からスタートし湯本まで進むことにした。

10:30 五色温泉駐車場(除雪最終地点)を出発。空は青空だが、雲の流れが速い。イワオヌプリの山頂も風が強いようだ。



790mの道路標識が出ているところから、894m小ピークへ向けて登る。



894mピークから北西に向け緩い斜面を進み、そのまま尾根沿いにイワオヌプリに登るが、風が強すぎて視界も悪くなり、1040m付近で登頂をあきらめ、戻ることにした。強風の中、シールを取り登ってきたトレースを追いながら慎重に下る。950mぐらいで視界がよくなってきたので、滑りやすいところを選びながら滑る。



12:30 登り始めの標識のところに戻る。ここまで下るとほとんど風もなくぽかぽかの陽気になる。小休止後五色温泉駐車場に下る。



12:50 五色温泉駐車場に到着。これからスノウカイトをするというグループの車が数台集まっていた。はじめて耳にしたが、風が強くても楽しめるスポーツのようだ。

この日の山行はあきらめ、ニセコでスキーショップを見たりして時間をつぶし、本日の宿泊地の蘭越の寅さんの家へ向かう。



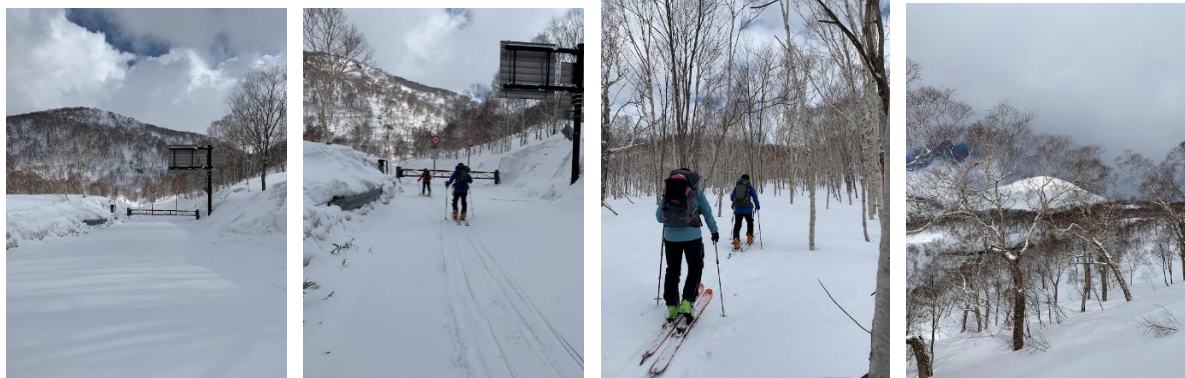
コースタイム : 10:30 五色温泉 ~ 11:00 894mピーク ~ 11:35 1040m(撤退) ~ 12:30 道路(標識) ~ 12:50 五色温泉駐車場

2024/3/31(日) 曇り強風

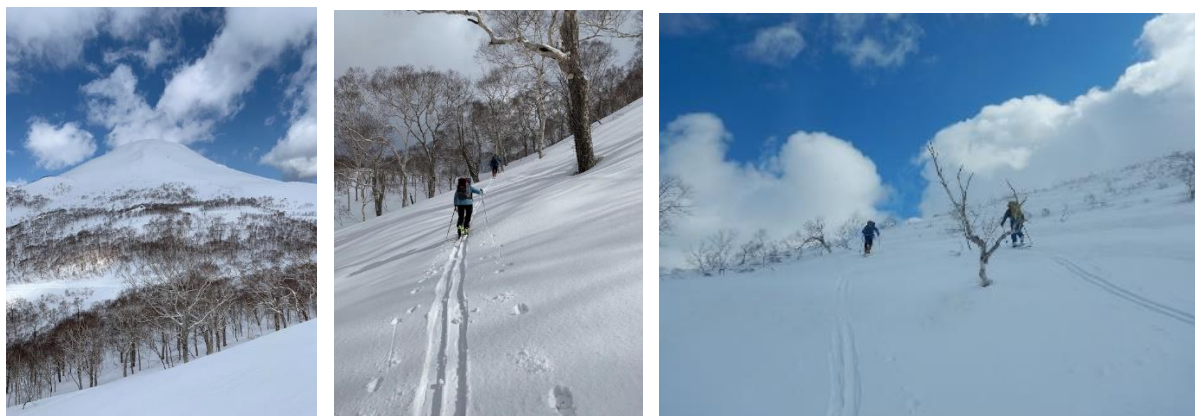
二日目はニトヌプリから白樺山を抜け新見峠から新見温泉ゲートまで下る。

蘭越の寅さんの家のご主人に湯本温泉のパノラマラインゲートまで送ってもらう。

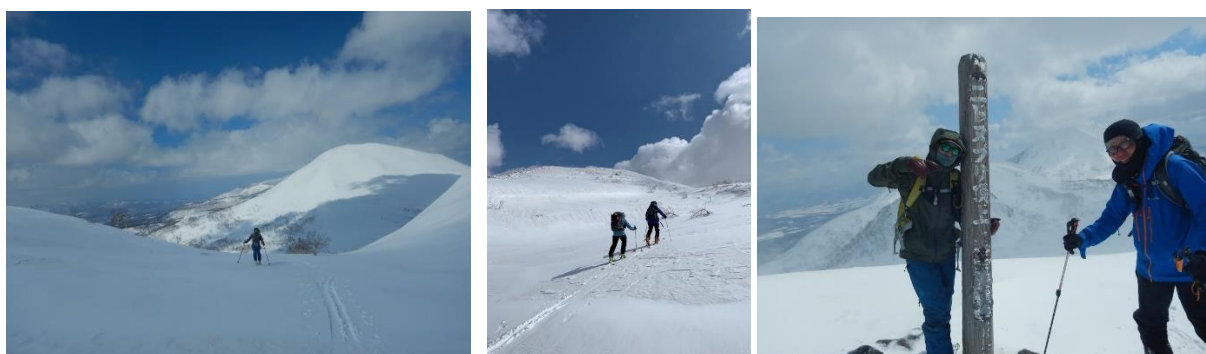
8:15 湯本温泉パノラマラインゲート発。林道を600mほど進み林道を離れニセコアンベツ二号沢沿いに北へ進む。



ゆるい斜面を北へ進み750m付近から東に進路を変えニトヌプリ北峰と南峰のコルに向う。コルの手前1000m付近まで白樺の疎林の中、気持ちの良い斜面を登るが、1000mコルの手前からは接面が硬くなってゆく。



10:10 コルに到着。雪面はカリカリで風も出てきた。カリカリの斜面を山頂に向け登り、10:20 ニトヌプリ山頂に到着。山頂に上がるとニセコアンヌプリの方角からの強風がもろに当たる。早々にシールを剥しこの強風の中を逃れようとするが、風が強すぎて思うように作業が進まない。



強風の中、やっとシールを取り、ニトヌプリの西斜面をチセヌプリ方面へ滑降するが歩くのもままならないほどだ。1000mから50mぐらいは緩い斜面だがカリカリで板がはじかれる。そして、950mぐらいから雪は柔らかくなったが、今度は斜度がきつくなる。急だが滑りやすい斜面をまだ除雪されていないパノラマラインに向けて滑り降り、チセヌプリ東斜面側に到着。



チセヌプリの山頂も風が強そうなので、900m ぐらいまで上がり南側の斜面をトラバースしてシャクナゲ岳とチセヌプリのコルに向った。



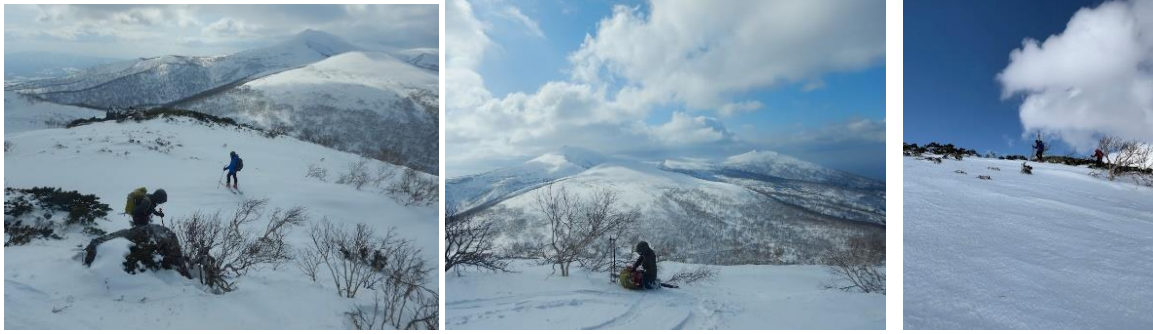
シャクナゲ岳とチセヌプリのコルからシャクナゲ沼へ向けて東斜面を登って行くが、高度を増すごとに風が強くなってゆく。



シャクナゲ沼で小休止するが風が吹き抜け寒いので早々に切り上げ白樺山へ向かう。白樺山手前の台地に降りて白樺山までは細尾根になるが、尾根は避け南側の斜面をトラバースして931mのピークを巻き白樺山山頂に到着。



ここから、新見峠までは樹林帯の滑りになるが、T村Mのビンディングが不調でトゥピースのテックピンが開かず、靴が固定できない状態になる。しかたがないので、新見峠まで担いで下る。白樺山から新見峠までは樹林のほど良い斜面でこの日のルートの中では唯一滑って楽しい斜面だったと思う。残念。



15:35 新見峠に到着。新見峠からゲートまで下らないといけませんが、担いで歩きで下るとかなり時間がかかるだろうと思い、再度ビンディングの確認をしたが状態は変わらずトゥピースが固定できなかった。試しにテルモスのお湯をかけてみたらトゥピースが開き正常に固定できるようになった。ビンディングを濡らしてしまって凍ったのだろう。新見峠からスキーで滑り林道をショートカットしながら下った。



16:30 新見峠林道ゲートに到着。ゲート手前まで雪がつながっていたので1時間弱で到着したが、新見峠でT村Mのビンディングが復活しなかったら3時間ぐらいかかっていただろう。5分ほど待っていると、寅さんの家のご主人がゲートまで迎えに来てくれた。本当に助かる。



コースタイム:8:15 湯本温泉ゲート～ 8:35 ニトヌプリ取りつき～ 10:10 ニトヌプリコル～ 10:20 ニトヌプリ山頂～ 11:00 チセヌプリ東斜面登山道～ 12:35 チセヌプリとシャクナゲのコル～ 13:00 シャクナゲ沼～ 14:10 シャクナゲと白樺山のコル～ 14:45 白樺山山頂～ 15:35 新見峠～ 16:30 新見峠ゲート

2024/4/1(月) 晴れのち曇りのち晴れ(一日中強風)

寅さんの家のご主人に昨山下山した新見峠のゲートまで送ってもらう。

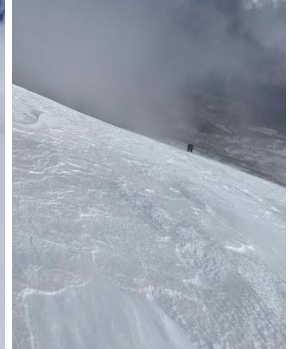
8:10 新見峠のゲート発。昨山下山で滑ったトレースに従い新見峠まで登った。ルート迷いもなく順調に進み、新見峠まで3時間弱で行けた。



11:05 新見峠に到着。休憩後、前目国内岳へ向かう。前目国内岳は900m付近から南斜面を、前目国内岳と目国内岳のコルに向けて巻く。



12:20 前目国内と目国内のコルに到着。目国内山頂は雲の流れが早く強風のため、1150m付近まで上がり傾斜が緩んだ南斜面をトラバースしたが、風にさらされた斜面は硬くなっていて途中でクローが必要になりきわどいが柔らかい所を探しクローを付けた。後から思うとコルからの登りはじめに着けて置いた方が良かった。



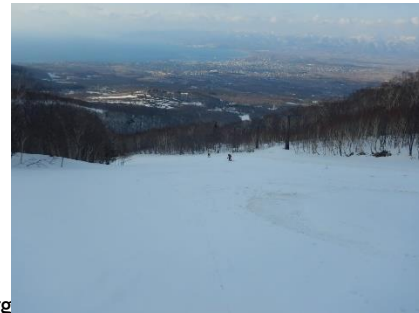
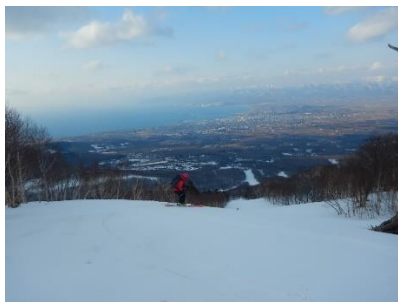
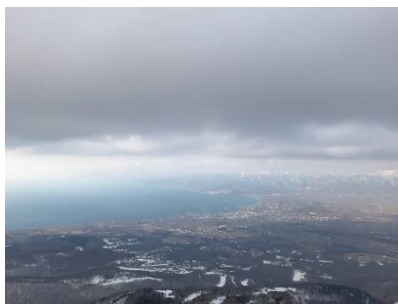
13:50 目国内岳東斜面の平坦になった部分に到着。ここでシールを取り、岩内岳に向けて北斜面を滑降する。強風でかつ視界もなくなってしまう、GPS で方角を確かめながら、50mぐらい滑っては方角を確かめて方向を補正しながらの滑降を繰り返し、標高 1000m付近でやっと視界が開け、岩内岳が正面に見えるようになる。湿原(950m)まで滑降し、そこからシールを装着し岩内岳に向う。湿原から見る岩内岳は左右が急斜面で鋭角な三角錐に見えるが向かう斜面は意外と緩やかだった。一面のガスで頂上が見え隠れする中、ゆっくりと登って行く。



15:55 岩内岳山頂に到着。シールを剥し、岩内スキー場へ滑り込む。スキー場のゲレンデトップまではカリカリの急斜面を、横滑りを交えながら慎重に下り、ゲレンデトップ手前でようやく視界が開け雪も柔らかくなる。



視界の開けたゲレンデトップから日本海へ向けて滑り降りる。営業していないスキー場のゲレンデは適度に雪が閉まっていたこの3日間で一番良い雪質で気持ち良かった。ゲレンデトップ900m付近からスキー場駐車場(200m)まで一気に滑り降りた。



gg

16:40 岩内スキー場駐車場に到着。ここでタクシーを呼び蘭越の寅さんの家まで車の回収に向い、回収後、今日の宿の岩内温泉「おかえりなさい」まで車で戻る。

温泉で暖まり、おいしい食事をとり、3日間の行程を振り返りおいしいお酒を飲んで眠りにつく。終始強風で大変だったが、楽しい山行でした。



コースタイム:8:10 新見峠ゲート ~ 11:05 新見峠 ~ 12:20 前目国内と目国内のコル ~ 13:50 目国内岳東斜面の平地 ~ 14:40 湿原 ~ 15:55 岩内岳山頂 ~ 16:17 岩内スキー場ゲレンデトップ ~ 16:40 岩内スキー場駐車場